

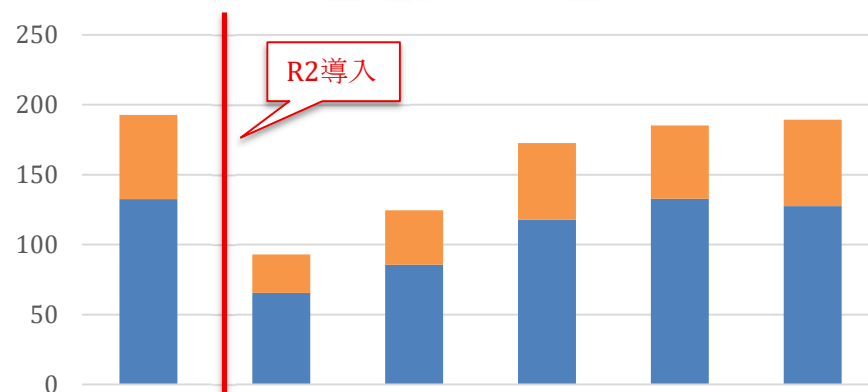
宿泊税導入にあたっての懸念事項 ～「宿泊税導入＝宿泊客減」の検証～

事例 1：福岡県 北九州市（R2/2020 年 4 月導入）

【目的】観光資源の魅力向上及び情報発信、旅行者の受入環境の充実その他の観光の振興を図る施策に要する費用に充てる。

宿泊者数（目的別）

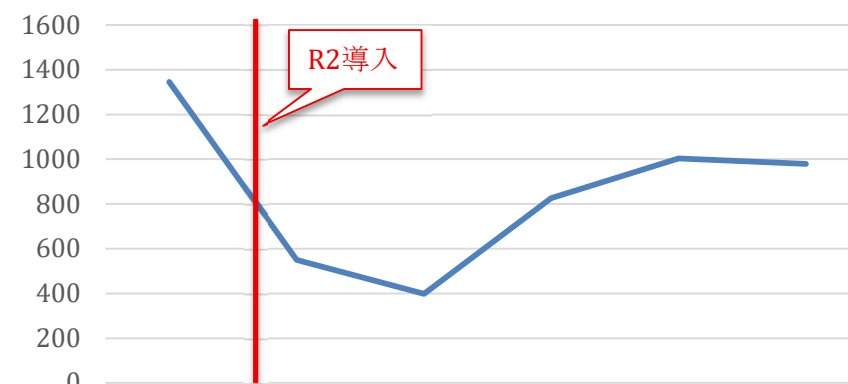
■ 観光（万人） ■ ビジネス（万人）



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
観光	60.4	27.7	38.9	54.6	52.6	61.7
ビジネス	132.5	65.5	85.7	118.1	132.7	127.6
合計	192.9	93.2	124.6	172.7	185.3	189.3

観光消費額

— 消費額（億円）



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
消費額	1,345	550	398	827	1,004	979

【具体的使途】

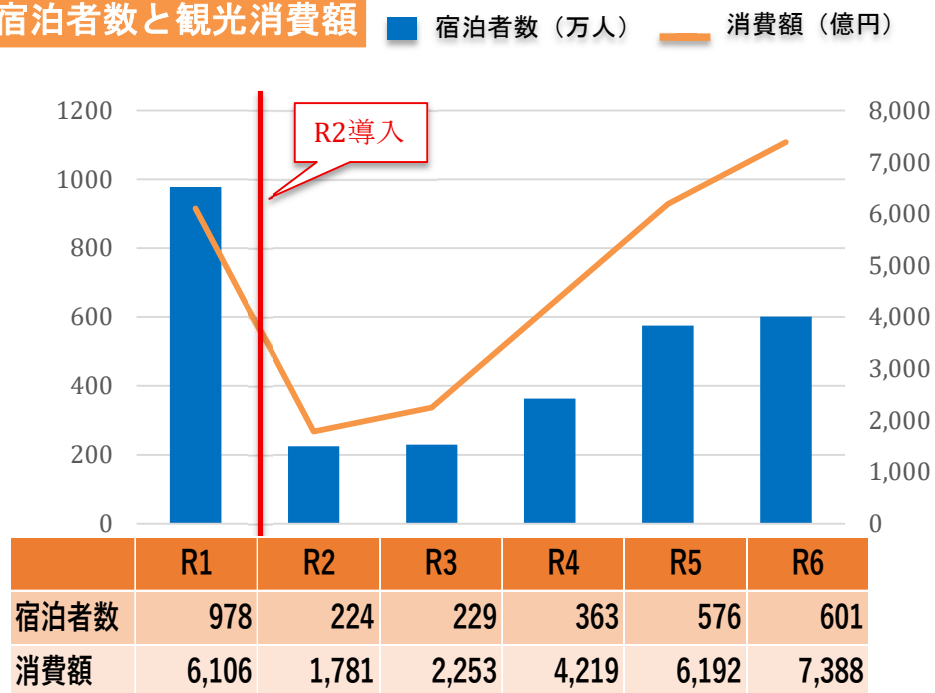
- 広報・プロモーション：メディア連携広告、大河ドラマ連携プロモーション、西鉄バス・モノレール・空港等での周知広報、団体客誘致助成、海外オンライン旅行会社（Expedia 等）連携ワンストップ PR、海外インフルエンサー招聘
- 受入体制整備・観光 DX：小倉駅等のフリーWi-Fi 整備、店舗キャッシュレス化推進、ペDESTリアンデッキ・展示場整備
- 宿泊事業者支援：OTA 活用宿泊キャンペーン事業、宿泊施設等改修支援事業（バリアフリー・安全安心対応補助等）
- 観光資源の磨き上げ・夜間景観：小倉城周辺の歴史・文化磨き上げ、皿倉山プレミアム夜景事業（ケーブルカー・無料シャトルバス運行、イルミネーション等）、日本新三大夜景再認定推進

【ポイント】宿泊者数は既にコロナ前水準へ回復。消費額についても、堅調な回復を継続。

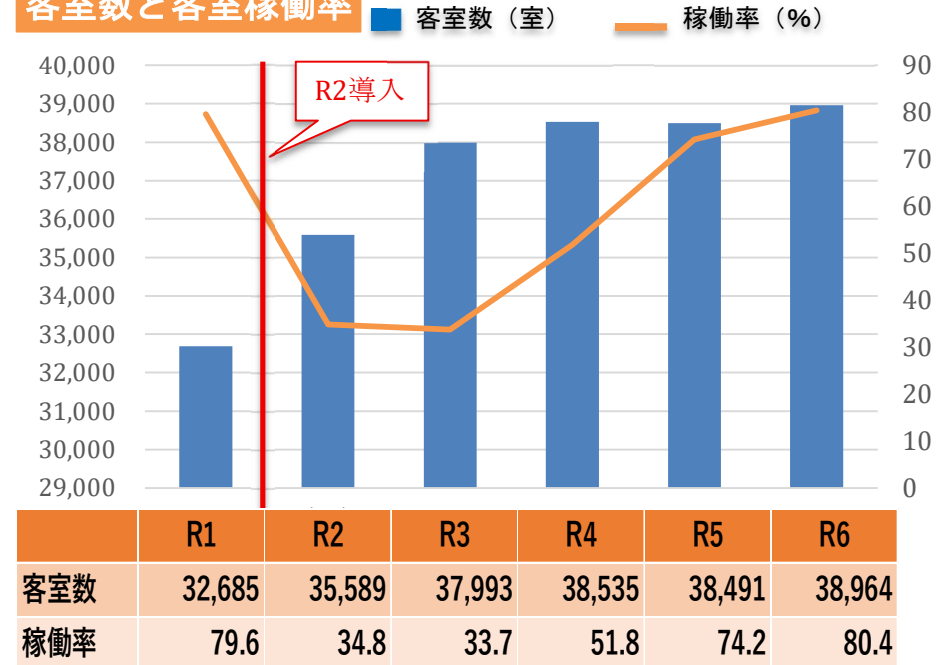
事例2：福岡県 福岡市（R2/2020年4月導入）

【目的】福岡市観光振興条例に規定する観光産業の振興、受入環境の整備、観光資源の魅力の増進等、MICEの振興や持続可能な観光の振興に要する費用に充てる。

宿泊者数と観光消費額



客室数と客室稼働率



【具体的使途】

- 事業者直接支援：受入環境充実支援補助金（50件実施：自動チェックイン機、パスポートリーダー導入等）
- 人材確保支援：宿泊業界特化の合同就職説明会（41社参加）、若手研修（全13回）
- 滞在型コンテンツ・DX：博多旧市街プロジェクト、福岡城天守閣ライトアップ、AI屋台案内「AIおいちゃん」

【ポイント】ホテル供給が増加する中でも高稼働率を維持。直接的な事業者支援（自動化補助等）により現場負担軽減を促進。

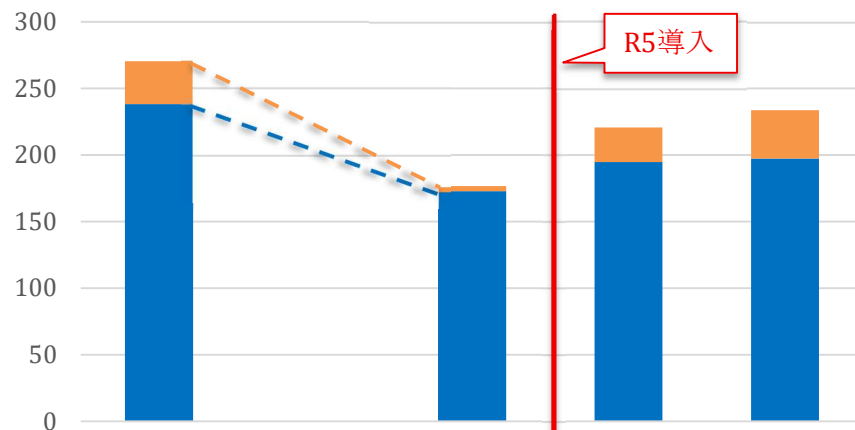
宿泊者の過度な密を避けつつ地域経済効果（消費額）を高める高付加価値化への転換に成功している事例。

事例3：長崎県 長崎市（R5/2023年4月導入）

【目的】都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てる。

宿泊者数

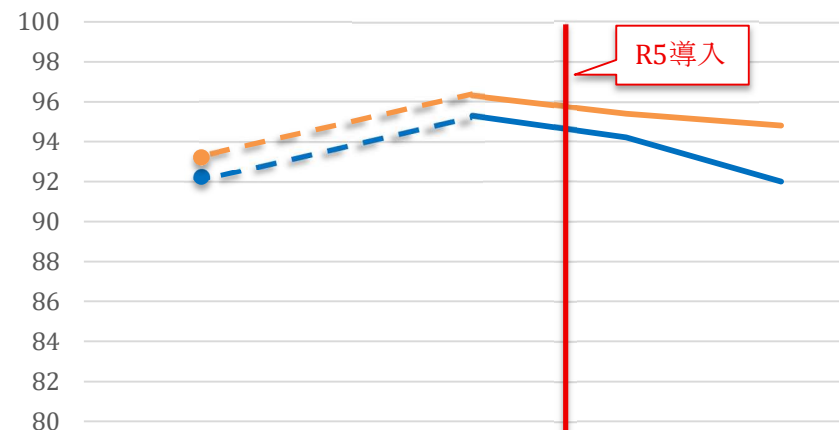
■ 海外客（万人） ■ 国内客（万人）



	R1	R2－3	R4	R5	R6
海外客	32.3	—	3.9	25.8	36.4
国内客	238.1	—	172.8	194.7	197.3
合計	270.4	—	176.7	220.5	233.7

満足度と再来訪意向

— 満足度（％） — 再来訪意向（％）



	R1	R2－3	R4	R5	R6
満足度	91.9	—	96.3	95.4	94.8
再来訪意向	91.0	—	95.3	94.2	92.0

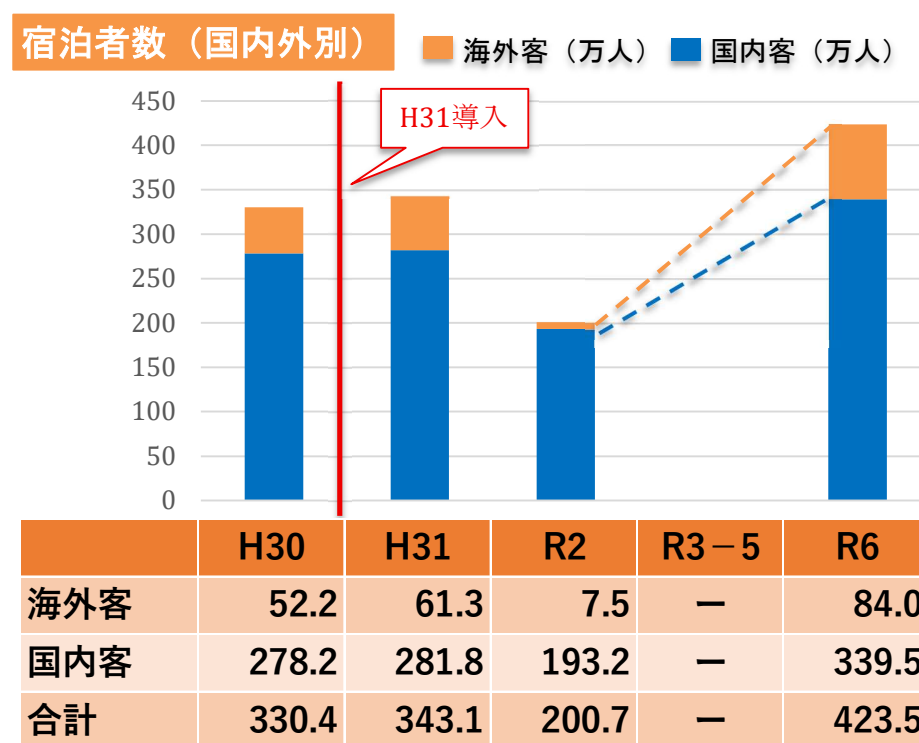
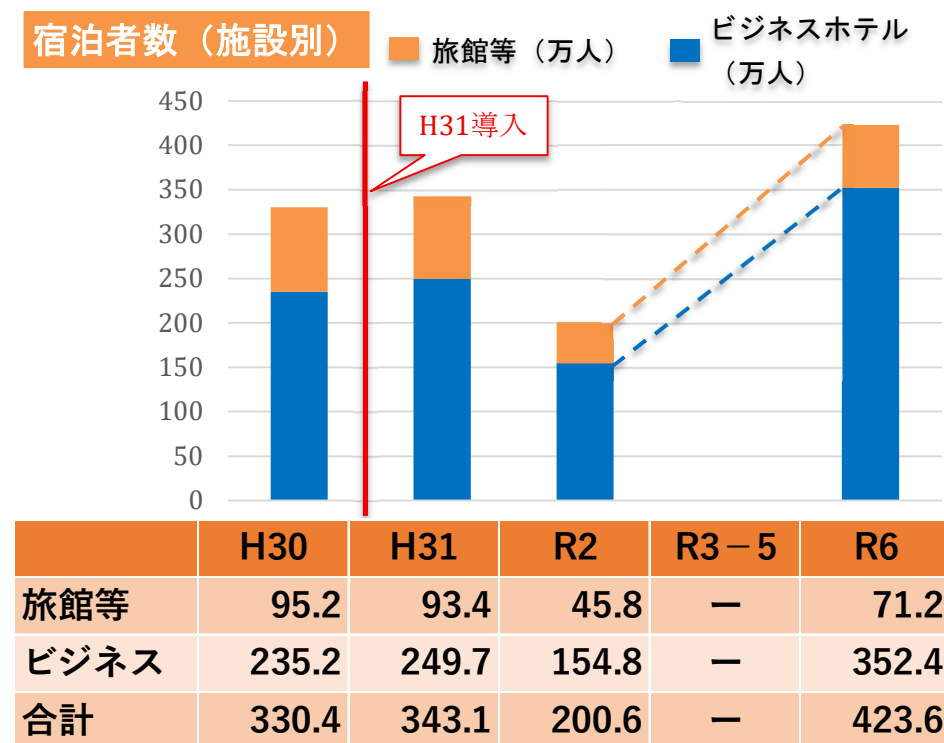
【具体的使途】

- サービス向上・消費拡大：体験予約サイト「play nagasaki」（25.5万人利用）、サステナブルツーリズム造成
- 情報提供：公式サイト「travel nagasaki」（697万PV）、長崎さるく（まち歩き）PR、東アジア連携（樂吃購!）
- 受入整備・人材育成：英語ガイド「Nagasaki Crew」育成（24名）、多言語案内板整備、小中学生出前授業

【ポイント】導入後も宿泊者数は大幅に増加。質の高い受入整備により満足度・再来訪意向ともに90%超を安定維持。

事例4：石川県 金沢市（H31/2019年4月導入）

【目的】金沢の歴史、伝統、文化など固有の魅力を高めるとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てる。



【具体的使途】

- 歴史的街並み・文化財の保全・活用：金沢町家（古民家）の保全・再生支援、夜間景観・ライトアップ事業（「金沢ライトアップバス」等）の拡充、伝統工芸・伝統芸能体験コンテンツの造成。
- 市民生活と観光の調和（オーバーツーリズム対策）：観光客集中エリアでの混雑緩和（周遊バス運行強化）、観光トイレの清潔化・洋式化改修、多言語マナー啓発。
- 受入環境整備・観光DX：観光案内所の機能強化、周遊フリーWi-Fi整備、キャッシュレス化推進。
- 事業者支援：滞在型観光コンテンツの開発補助、MICE誘致支援。

【ポイント】導入年に当時の過去最高宿泊者数を更新。旅館等・ビジネスホテルともに拡大が継続。海外客の増加以上に国内客の増加が拡大。